

世帯と人口

11月1日現在・()内対前月比

世帯	46,070	(+201)
人口	121,770人	(+403)
男	62,017人	(+190)
女	59,753人	(+213)

広報えびな

編集・発行

海老名市役所 広報広聴課

〒243-0492

神奈川県海老名市勝瀬175番地の1

☎ (046) 231・2111

URL <http://www.city.ebina.kanagawa.jp>

*この広報は再生紙を使用しています。

検問で声をかけるお巡りさん「苦勞様、頑張って「温かい言葉が、凍えた身体にじんわりときます。」



えがお

師走の街、事故なく😊

今年も早いものでカレンダーも残り一枚。クリスマス、大晦日から元旦と続く年の瀬イベントの数々。先を急ぐあまりドライバーはスピードの出過ぎ、歩行者は信号無視や無理な横断で思わぬ事故にも…。忙しいときこそ『ゆとりと思いやりの心』をもって交通事故のない明るい新年を迎えたいものです。

寒空、交通安全を願って

仕事が終わわり、海老名駅から南に向かつて車を走らせていると、市役所辺りからオレンジ色に仄かに灯る三角コーンの連なりと真っ赤な「止まれ」の旗が見えて来ます。平成13年に警察署がオープン、この時期ならではの検問も3年目を迎え、寒空の下にたえずお巡りさんたち“は、新しい海老名の冬風景になりつつあります。

時には、寒さのあまり防寒着に霜が降りるほどの厳しい任務ですが、ほとんどのドライバーは先を急ぐためかイヤ顔をしないそうです。去年6月より道路交通法が改正され、酒酔い運転は3年以下の懲役または50万円以下の罰金と強化されました。これも、飲酒運転など悪質・危険な運転者による悲惨な重大事故が後を絶たないためです。補償はもちろんです。もしも事故を起こした場合、当事者だけでなく周りの家族が背負う心の傷の深さは測り知れません。

「事故のない街、海老名にしたいですね。安全運転の基盤はお母さんから…」と海老名警察署の横森交通課長は話します。交通安全について、家庭の舵取り役のお母さんが家族に声をかける。家庭から地域や職域へと交通安全の輪が広がっていくことで、事故のない街への意識が高まるのではないのでしょうか。

年末の交通事故防止運動

今年も年末の交通事故防止運動を11日から20日まで「無事故で年末・笑顔で新年」をキャッチフレーズに展開します。12月は年末特有の慌ただしさの中で交通量が増え、無謀運転や違法駐車、忘年会による飲酒など交通事故が多発する時期です。このため①子どもと高齢者の交通事故防止②飲酒運転の追放③シートベルト・チャイルドシート着用の徹底④違法・迷惑駐車等の追放が重点項目として行われます。☎ 市民活動課(内266)。